

～コンコードを振り返って～

町民代表 農業後継者 松本 健吾

待ちに待った海外交流研修、話が来たときは即答で二つ返事、迷いはありませんでした。不安は無くわくわくした気持ちでいっぱいでした。海外に行く前に事前研修が行われ、渡航する前の注意点、七飯の歴史、英会話はクリス講師にて勉強しました。

海外は3度目になりますが、私自身、あらためてコンコードの町はとても暮らしやすい街だと体で感じ、そう思いました。

当日朝、函館空港に現地集合し羽田へ、そしてリムジンバスで乗り継ぎ成田へ、ボストンへ出発、出発するまでの間、空港内でおみやげなど買ったりしていました。

事前にホスト先の Johnson さんとメールのやりとりをしていました。すると丁寧に返事が来ました。

“So nice to hear from you. We (my wife Daniela, our daughter Kira and our son Neven) are all looking forward to your stay here. I think we will have a lot of fun together.”

ボストン国際空港まで12時間かかりましたが揺れがあまりないのか飛行している感じがなかったです。ホストファミリーの家に着いてからは片言ながらも積極的に会話しておみやげを渡しました。七飯のことを携帯の写真を見せながら話しました。



ジョンソンさん一家

2日目の朝、コーヒーをいただきながら外を眺めていたら、リスがあちこちにいることに驚きました。朝からとても癒されました。この日 CLARK FARM を見学しました。ここはコンコード市民のサポートを受けながら経営している直売所でした。サポート会員になると、カゴ1つ買い物ができるとても良いシステムだと思いました。もちろん一般の会員じゃない客も買い物ができます。ここのお店の商品はすべてオーガニックとのことでした。それぞれの商品規格がない商品として売られていました。土地や農地、自

然を守っている意識が高くとても興味をもちました。それからノースブリッジ、霊園、CCHSに行きました。市民一体となって協力して町を創り上げるという話を聞いてから、改めて町を眺めてとても大変なことだなと良い刺激を受けました。時間もあっという間に昼になり CCHS で学校の先生方と昼食をとり楽しい時間を過ごしました。昼食後 CCHS 校内を見学しました。高校とは思えないほど広い解放的な土地でした。午後からはオーチャードハウスに行き、若草物語について話を聞きました。物語について関心を持ったので色々調べたいと思いました。この日、ほんの少しではありますがコンコードを知ることができ、貴重な経験となりました。

3日目、今日は Neven と一緒に車で登校しました。それから CCHS に集まり、セイラムの町へ行きました。セイラムは謎の事件が起きた町として知られており、その昔セイラム魔女裁判という謎めいた事件が起きました。村人が魔女だとされ、無実とされる人が次々と告発され裁判にかけられました。そんなおそろしい魔女裁判、一説には麦角中毒、児童虐待、いろんな説が唱えられています。そんな話を聞いて恐ろしい街だと認識していましたが、とてもそうとは思えないほど活気のあるイベントが行われていました。その後セイラムを散策していたら足がつってしまい歩くのが困難になりました。あまり歩けず、見学出来ませんでした。時間が経つにつれ人が多くなり、じわじわと混み合ってきました。それからしばらくして時間となったので、学校に戻りました。

午後3時前だったので近くの町を見たいと、鈴木先生にホームステイの Tom さんに伝えていただき行けることになりました。この日は見てまわるだけでしたが、次の日買い物に行こうと誘われました。夕方から Curtin 家でピザパーティーをし、アメリカンフットボールを観戦して盛り上がりました。そしてそこにいる人たちとたくさん農業について話しました。次の話はここに来てパソコンで説明するよと言ってくれました。次が待ち遠しいです。

4日目は Tom と一緒に買い物をしました。もちろんドルでの買い物です。不慣



ハロウィンの仮装（私です！）

れなコインと紙幣を使いながらおつりを少なく済むように努力しました。

夕方には初めてのハロウィンパーティに参加しました。もちろん私自身
が変身して脅かしていました。小さな子供から大人まで参加できるのでみ
んなが楽しめるパーティーは、七飯町の七夕に似ていました。また仮装が
出来る機会があれば参加したいと思います。

5日目、北海道とマサチューセッツ州が姉妹州提携 25 周年ということ
で CCHS にて演奏コンサートが開かれました。合同でセッションしていた
ので、音楽に壁はないんだなと肌で感じました。

日本の知っている曲も演奏されていて、ホッとする時間でもありました。
奥深く、演奏に圧倒されてしまって、感激して思わずうるっとしてしま
いました。

6日目、一日一日がとても早く感じてしまって、しばらくいたいなあ
と思いました。毎日新たな発見がありとても充実していると感じました。

7日目、明日が最後のホームステイ、最後の夜にボストン市内にあるパ
パラッチというレストランでパーティーをしました。1 週間を振り返って
みると色々な生活が見えてきました。靴で上がる家とそうでない家がある
こと、家族思いなこと、建物を大事にしていること、YES,NO がはっきり
していること、そして意外に日本車が多くエコに関心が高いこと、仕事面
でも ON,OFF があり、ゆとりがあるように思えました。

8日目、早朝から家族に見送られ N.Y へ
それぞれの家族に見送られながら出発し、3 時間以上バスに揺られ、よう
やく到着した NY は全くの別世界でした。同じ国でも州が変われば街も変
わります。車、人が多くて酔ってしまいました。道路は渋滞してクラクシ
ョンが飛び交っていました。想像以上に迫力があり、空気に呑まれてしま
いそうでした。高層ビルに囲まれながらやっと着いたウィルトンホテルは、
少しレトロ感を漂わせるホテルでした。ガイドさんから注意として、「自
分の身は自分で守って下さい。スリに遭わないよう貴重品の管理には注意
してください。」と日本じゃあまり意識したことが無かったことを言われ、
とても落ち着きませんでした。

9日～10日目

N.Y は常に明るいので太陽が昇るまでわかりません。朝の街並みと景色は
別物でとても綺麗でした。人の流れがあるので時間に追われている感じが

しました。逆に夜は遊園地のようにキラキラしていて、主に広告の看板が光っていました。

タイムズスクエア、自由の女神、9.11のグランドゼロ、セントラルパーク、中でもグランドゼロに行けたことに胸いっぱいです。当時小学生だった頃テレビでしか触れることが出来なだらうと思っていました。そんな事故現場にいたのは不思議な感覚でした。そしてN.Yを見下ろすトップ・オブ・ザ・ロックは最高の観光スポットでした。N.Yはいつも新しい風が流れていると感じました。そんな素敵な街でした。

最後に

長いようで短い海外交流研修でした。普通の旅行じゃまず味わえないホストファミリーとの交流、コンコードの農場の視察、機会があればコンコードの最盛期に農業視察に行くことが出来ればなと思いました。

まだまだ経験が少ないのでこれからの農業をどうしていくか、地域にそったやり方をし、その時代にあわせてやっていく、色んなところを視察しながら特に自分らしい農業を創っていくことが出来ればなと思いました。

今回お世話になったコンコードの皆さん、心から感謝しています。ありがとうございました。次会うことがあればまた会いましょう。